〔書式５〕

履　　歴　　書

ふりがな 氏　　名 注）楷書体でくずさずに正確に書くこと。		本人写真 貼付位置 タテ　　ヨコ 3cm × 2.5cm 【撮影後３か月以内】
大正 昭和 平成　　年　　月　　日生　（　　）歳	男　・　女	
現 住 所 注）都道府県名から書くこと。		

最　終　学　歴

注）中途退学者、専修学校等卒業者は、最終卒業学歴に加えてそれらも併記すること。

年	月	卒業学校名	所在地（都道府県・市区町村名）

職　　歴

注）学校卒業以降現在まで、無職や休職の期間も記載し、現在の状況まで明確になるよう中断なく記載すること。

年	月	官公署、会社、団体等	所　在　地 （都道府県・市区町村名）
～　年	月	主な職務内容	
～			
～			
～			
～			
～			
～			
～			
～			
～			
～			
～			

～			
～			
～			
～			
～			

行政書士事務所	
所在地	市区町村名のみ　　〔事務所から自宅までの所要時間（利用交通手段は不問）　約　　分〕
形　態	1. 自宅兼事務所　2. 自宅以外の独立事務所　3. 共同・合同事務所　4. 法人内事務所 注）共同事務所…行政書士が複数で、同一室内に事務所を設置する場合 合同事務所…行政書士が他士業者と、同一室内に事務所を設置する場合
使用権	1. 自己所有　2. 親族所有　3. 賃貸借契約　4. 使用貸借契約
行政書士業務の遂行について	
行政書士法第６条の２第２項第１号には該当せず、行政書士の業務を行うことに支障ありません。	
上記のとおり相違ありません。 平成　　年　　月　　日 氏　名　　印 注）提出日を記入し、自筆署名のうえ、申請書と同一の印を押すこと。	

※申請書類に重大な偽りの記載をした場合は、登録を取り消されることがあるので注意すること。

（行政書士会）
受　付　欄